

# *ES/1 NEO*

CSシリーズ

CS-JOB for JP1

使用者の手引き

第3版 2019年11月

---

©著作権所有者 株式会社 アイ・アイ・エム 2019年

**© COPYRIGHT IIM CORPORATION, 2019**

**ALL RIGHT RESERVED. NO PART OF THIS PUBLICATION MAY  
REPRODUCED OR TRANSMITTED IN ANY FORM BY ANY MEANS,  
ELECTRONIC OR MECHANICAL, INCLUDING PHOTOCOPY RECORDING,  
OR ANY INFORMATION STORAGE AND RETRIEVAL SYSTEM WITHOUT  
PERMISSION IN WRITING FROM THE PUBLISHER.**

**“RESTRICTED MATERIAL OF IIM “LICENSED MATERIALS – PROPERTY OF IIM**

# 目次

第 1 章 CS-JOB for JP1 の概要 .....	1
1.1. CS-JOB for JP1 について .....	1
1.2. CS-JOB for JP1 で解析対象とする JP1/AJS3 バージョン .....	1
第 2 章 データ収集対象 .....	2
2.1. CS-JOB for JP1 で解析対象とするデータについて .....	2
2.2. データ収集設定の事前準備 .....	3
第 3 章 iim collect .....	4
3.1. 収集方法 .....	4
3.1.1. Windows 共有リソースによる収集 .....	4
3.1.2. FTP 接続による収集 .....	4
3.1.3. SFTP 接続による収集 .....	4
3.2. 転送設定 .....	4
3.3. 実行方法 .....	4
3.4. ロギング .....	5
第 4 章 x2f .....	6
4.1. スケジューラーログファイルの配置 .....	6
4.2. 動作設定 .....	8
4.3. x2f の実行 .....	8
4.3.1. オプション -h .....	9
4.3.2. オプション -V .....	9
4.3.3. オプション -i .....	9
4.3.4. オプション -o .....	9
4.3.5. オプション -k .....	9
4.3.6. 実行オプション .....	10
4.4. ロギングの指定 .....	10
4.5. 変換記録ファイル (lastfile.map/Jp1Ajs3.map) .....	10
第 5 章 フラットファイル項目一覧 .....	11
5.1. JP1/AJS3 ジョブ情報 .....	11
5.1.1. JP1AJS3:ジョブ開始情報 (表名: JP1AJS3J001) .....	11
5.1.2. JP1AJS3:ジョブ正常終了情報 (表名: JP1AJS3J002) .....	11

5.1.3.	JP1AJS3:ジョブ異常終了情報（表名: JP1AJS3J003） .....	12
5.1.4.	JP1AJS3:ジョブ警告終了情報（表名: JP1AJS3J004） .....	12
5.1.5.	JP1AJS3:ジョブ保留情報（表名: JP1AJS3J005） .....	13
5.1.6.	JP1AJS3:ジョブサブミット開始情報（表名: JP1AJS3J006） .....	13
5.1.7.	JP1AJS3:イベントジョブ実行要求開始情報（表名: JP1AJS3J007） .....	13
5.1.8.	JP1AJS3:ジョブ終了遅延情報（表名: JP1AJS3J008） .....	14
5.1.9.	JP1AJS3:ジョブのキューイング取り消し情報（表名: JP1AJS3J009） .....	14
5.1.10.	JP1AJS3:ジョブ待ち合わせ開始情報（表名: JP1AJS3J010） .....	14
5.1.11.	JP1AJS3:ジョブ待ち合わせ条件の成立情報（表名: JP1AJS3J011） .....	15
5.1.12.	JP1AJS3:ジョブ待ち合わせの滞留情報（表名: JP1AJS3J012） .....	15
5.2.	<b>JP1/AJS3 ジョブネット情報 .....</b>	<b>16</b>
5.2.1.	JP1AJS3:ジョブネット開始情報（表名: JP1AJS3N001） .....	16
5.2.2.	JP1AJS3:ジョブネット正常終了情報（表名: JP1AJS3N002） .....	16
5.2.3.	JP1AJS3:ジョブネット異常終了情報（表名: JP1AJS3N003） .....	17
5.2.4.	JP1AJS3:ジョブネット警告終了情報（表名: JP1AJS3N004） .....	17
5.2.5.	JP1AJS3:ジョブネット保留情報（表名: JP1AJS3N005） .....	18
5.2.6.	JP1AJS3:ジョブネット閉塞情報（表名: JP1AJS3N006） .....	18
5.2.7.	JP1AJS3:ジョブネット閉塞情報（表名: JP1AJS3N007） .....	18
5.2.8.	JP1AJS3:ジョブネット開始遅延情報（表名: JP1AJS3N008） .....	19
5.2.9.	JP1AJS3:ジョブネット終了遅延情報（表名: JP1AJS3N009） .....	19
5.2.10.	JP1AJS3:次回予定キューイング情報（表名: JP1AJS3N010） .....	19
5.2.11.	JP1AJS3:ジョブネット起動条件監視開始情報（表名: JP1AJS3N011） .....	20
5.2.12.	JP1AJS3:ジョブネット起動条件監視終了情報（表名: JP1AJS3N012） .....	20
5.2.13.	JP1AJS3:ジョブネット繰り越し未実行情報（表名: JP1AJS3N013） .....	20
5.2.14.	JP1AJS3:ジョブネット全登録解除情報（表名: JP1AJS3N014） .....	21
5.2.15.	JP1AJS3:起動条件監視終了待ち情報（表名: JP1AJS3N015） .....	21
5.2.16.	JP1AJS3:ジョブネット待ち合わせ開始情報（表名: JP1AJS3N016） .....	21
5.2.17.	JP1AJS3:ジョブネット待ち合わせ条件の成立情報（表名: JP1AJS3N017） .....	22
5.2.18.	JP1AJS3:ジョブネット待ち合わせの滞留情報（表名: JP1AJS3N018） .....	22

## 第1章 CS-JOB for JP1 の概要

### 1.1. CS-JOB for JP1 について

CS-JOB for JP1 とは、JP1/AJS3 のスケジューラーログからデータを取得し、ES/1 NEO CS シリーズの共通形式データ（フラットファイル）への変換・蓄積を行うプロダクトです。

CS-JOB for JP1 で取り扱うパフォーマンス・データは、スケジューラーログファイルの「ジョブ」および「ジョブネット」データです。このデータをデータ変換プログラムの入力として、CS-MAGIC や CS-ADVISOR で取り扱えるフラットファイルを作成します。作成されたフラットファイルを使って、CS-MAGIC でのグラフ作成や、CS-ADVISOR での評価を行うことができます。

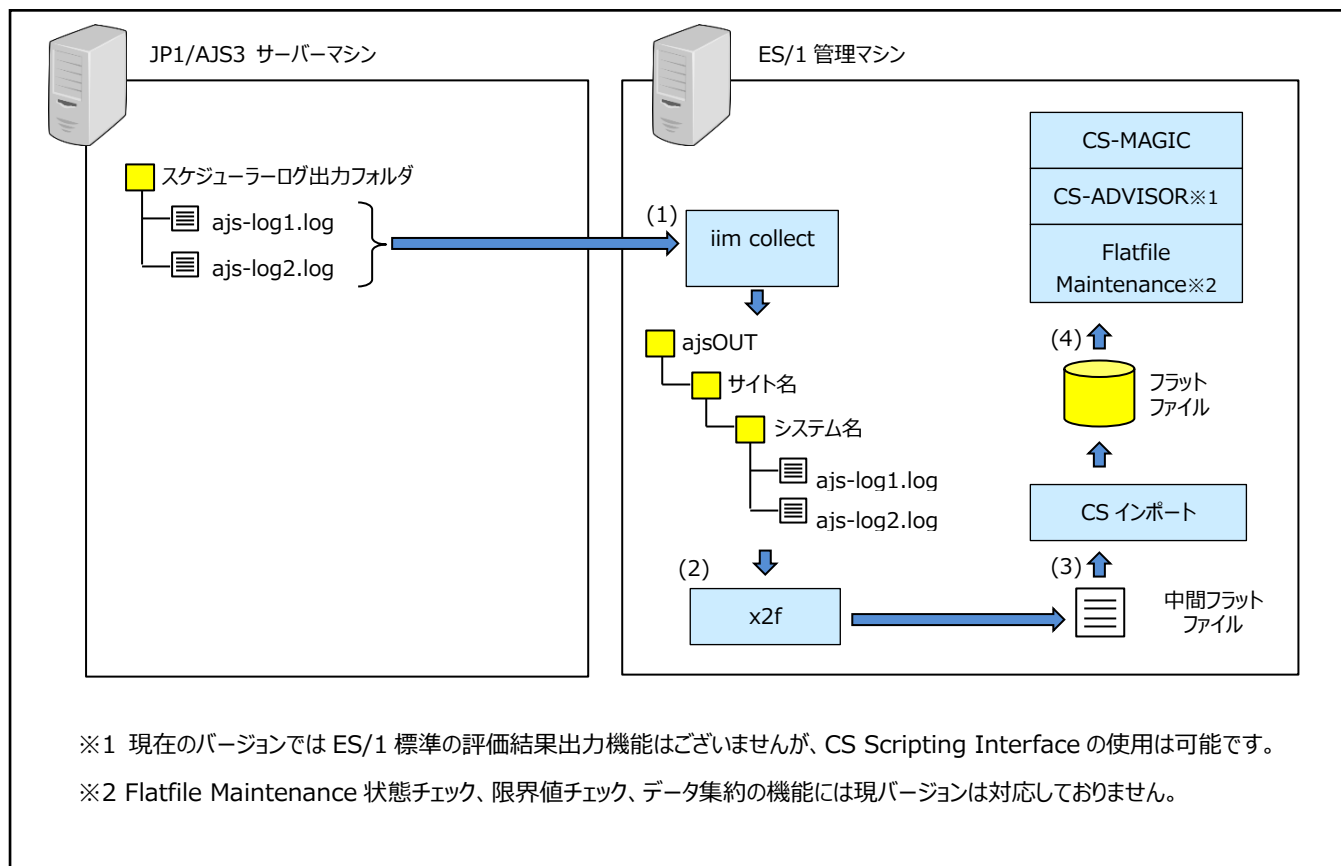
フラットファイルが作成されるまでの流れは以下のようになります。

JP1/AJS3 – Manager ホスト上の動作

- (1)JP1/AJS3 – Manager ホストで「スケジューラーサービス」単位のスケジューラーログを出力してください。

ES/1 管理マシンの動作

- (1)iim collect を使用して対象の「スケジューラーログ」ファイルを転送します。
- (2)データ変換プログラム（x2f）を使用して「スケジューラーログ」を中間フラットファイルに変換します。
- (3)CS インポートを使用して中間フラットファイルをフラットファイルにインポートします。
- (4)フラットファイルを使用して CS-MAGIC でグラフ作成、CS-ADVISOR で性能評価、Flatfile Maintenance でデータ管理を行います。



### 1.2. CS-JOB for JP1 での解析対象とする JP1/AJS3 バージョン

解析対象とする JP1/AJS3 バージョンについては、「サポート環境」の「JOB for JP1」をご参照ください。

## 第2章 データ収集対象

### 2.1. CS-JOB for JP1 で解析対象とするデータについて

CS-JOB for JP1 では、スケジューラログファイルのうち下記のログ種別のデータを解析対象にしています。

・ログ種別 N001～N018 および J001～J012

ログ種別	説明
N001	ジョブネット開始情報
N002	ジョブネット正常終了情報
N003	ジョブネット異常終了情報
N004	ジョブネット警告終了情報
N005	ジョブネット保留情報
N006	ジョブネット閉塞情報
N007	ジョブネット閉塞情報
N008	ジョブネット開始遅延情報
N009	ジョブネット終了遅延情報
N010	次回予定キューイング情報
N011	ジョブネット起動条件監視開始情報
N012	ジョブネット起動条件監視終了情報
N013	ジョブネット繰り越し未実行情報
N014	ジョブネット全登録解除情報
N015	起動条件監視終了待ち情報
N016	ジョブネット待ち合わせ開始情報
N017	ジョブネット待ち合わせ条件の成立情報
N018	ジョブネット待ち合わせの滞留情報
J001	ジョブ開始情報
J002	ジョブ正常終了情報
J003	ジョブ異常終了情報
J004	ジョブ警告終了情報
J005	ジョブ保留情報
J006	ジョブサブミット開始情報
J007	イベントジョブ実行要求開始情報
J008	ジョブ終了遅延情報
J009	ジョブのキューイング取り消し情報
J010	ジョブ待ち合わせ開始情報
J011	ジョブ待ち合わせ条件の成立情報
J012	ジョブ待ち合わせの滞留情報

## 2.2. データ収集設定の事前準備

JP1/AJS3 のスケジューラーログの変換にあたって必要となる事前準備を説明いたします。

- ・CS-JOB for JP1 では、スケジューラーサービス単位に出力されたスケジューラーログに対応しています。ホスト単位のログには対応していません。

（例）ログのファイル名

スケジューラーサービス単位のログ ajs-log1.log、ajs-log2.log

ホスト単位のログ ajs-host-log1.log、ajs-host-log2.log

- ・スケジューラーログの格納場所を確認してください。
- ・スケジューラーログの転送手段は、iim collect を提供しておりますが、別の手段でデータ転送を行い、ES/1 管理マシンで変換を行うような構成としても問題はありません。
- ・iim collect でデータ転送をするには、転送に使用するユーザを用意してください。
- ・x2f で変換可能なスケジューラーログの文字コードは「UTF-8」「MS932」です。それ以外の場合には、x2f の処理を行う前に文字コードの変換を行ってください。
- ・ES/1 の対象とするスケジューラーログの出力形式は、「実行 ID」や「ジョブ番号」の出力を有効としたログを推奨します。  
スケジューラーサービスの環境設定パラメーター  
[ログの出力形式] "LOGINFOALL"="yes"

- ・x2f ではスケジューラーログから解析対象とするログ種別のデータのみを抽出して ES/1 の性能データに変換します。

### 注意！

ログの文字コードと x2f の設定[iim configuration assistant]-[プロダクト共通設定]-[x2f]-[文字コード]の設定が一致しない場合、出力されるフラットファイルに「文字化け」のデータが含まれる可能性があります。  
必ずログの文字コードと一致する[文字コード]を設定してください。

### 注意！

ajs-log が英語表記となっていた場合、データに記録される時刻の表記は「Feb 29 09:30:00」のように西暦が表示されないため、x2f は実行日付の西暦とデータに入っている日付の前後関係から西暦を付与しています。  
初回実行時の入力データについて、次の点にご注意ください。

- ・x2f 実行日付の 1 年以上前のデータは処理することができません。
  - ・うるう日（2 月 29 日）のデータは、うるう年の翌年の 1 月 1 日以降は処理することができません。
- 2 回目以降の実行は、前回処理したデータ期間の後を処理対象とするため、古いログが残っていても問題ありません。

## 第3章 iim collect

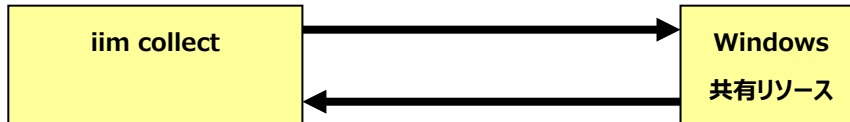
iim collect は、ファイル収集プログラムです。一般的な FTP クライアントと同様に、FTP サーバーに接続しファイルを転送します。

### 3.1. 収集方法

iim collect では次のファイル収集方法を提供しています。

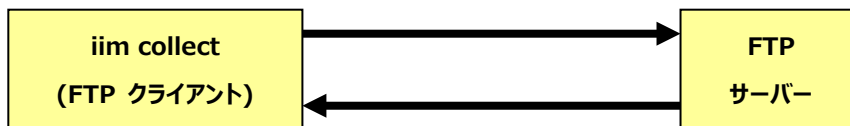
#### 3.1.1. Windows 共有リソースによる収集

対象の JP1/AJS3 サーバーが Windows の場合、共有リソースによる収集を行います。



#### 3.1.2. FTP 接続による収集

FTP による収集を行うには、収集対象のサーバーに FTP サーバーが必要です。iim collect 自身の FTP クライアント機能によりサーバーに接続しますので、別途 FTP クライアントソフトは不要です。

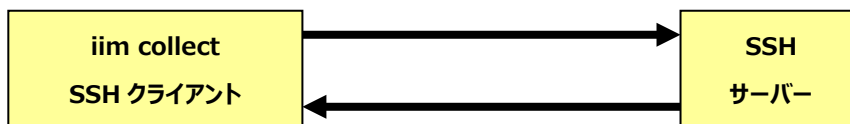


#### 3.1.3. SFTP 接続による収集

SFTP による収集を行うには、リモートサーバに、OpenSSH、または SSH2 に準拠したサーバソフトが必要です。

認証方式は、パスワード認証と公開鍵認証をサポートします。

公開鍵認証で使用する鍵は、iim configuration assistant、または、一般的な SSH クライアント(PuTTY など)にて、作成してください。



### 3.2. 転送設定

転送設定について別紙マニュアル「CS-Utility iim configuration assistant 使用者の手引き」の「3.1. ファイル転送」を参照してください。

### 3.3. 実行方法

```
iimclct configuration-file-name
```

configuration-file-name には、前記「3.2. 転送設定」で作成した転送設定ファイルを指定します。

転送設定ファイルが iim collect と同一ディレクトリに無い場合はフルパスで指定してください。



### 3.4. ロギング

iim collect の実行ログはテキストファイル(iimcllct ディレクトリ内の iimcllct.log)、およびイベントログに記録することが可能です。

ロギングの指定は iimcllct ディレクトリ内の iimcllct.ini ファイルにて行います。

iimcllct.ini ファイルは[LOG]セクションにより構成されます。

[LOG]セクションについては別紙マニュアル「Log Utility 使用者の手引き 8. ログ情報出力レベルの設定」を参照してください。

## 第4章 x2f

x2f は JP1/AJS3 のスケジューラーログファイルを ES/1 NEO CS シリーズで処理可能なフラットファイル形式に変換するプログラムです。

x2f は ES/1 NEO CS シリーズインストールフォルダ以下の x2f フォルダにインストールされます。

### 4.1. スケジューラーログファイルの配置

x2f が実行される ES/1 管理マシン上のスケジューラーログファイルが存在するフォルダは以下の形式である必要があります。<サイト名>と<システム名>は ES/1 CS シリーズにおけるサイト名とシステム名に相当します。

- ・任意のフォルダ¥<サイト名>¥<システム名>

次の【例】では、

C:¥ajsOUT¥NORTH¥yellow フォルダ以下のファイルを NORTH サイトの yellow システム

C:¥ ajsOUT¥NORTH¥orange フォルダ以下のファイルを NORTH サイトの orange システム

C:¥ ajsOUT¥SOUTH¥purple フォルダ以下のファイルを SOUTH サイトの purple システム

として取り扱います。

【例】

```
C:¥ajsOUT¥NORTH¥yellow¥ajs-log1.log
                        ¥ajs-log2.log
                        ...
¥orange¥ajs-log1.log
                        ¥ajs-log2.log
                        ...
¥SOUTH¥purple¥ajs-log1.log
                        ¥ajs-log2.log
                        ...
```

サイト名、システム名については下記の注意を参照してください。

**注意！**

サイト／システム名は全角 31 文字以内、半角 63 文字以内で指定してください。また、下記の文字は使用できません。

- ・半角片仮名
- ・¥ / : , ; \* ? " < > | .
- ・#
- ・機種依存文字（①②③..., I II III..., (株)ドルビネ...等）
- ・JIS X 0201、JIS X 0208（Shift\_JIS、CP932、Windows-31J）に含まれない文字、および、外字

また、Windows のファイル名、ディレクトリ名として使用できない予約名についてもサイト／システム名として使用できません。

- ・CON、PRN、AUX、CLOCK\$, NUL、COM0～COM9、LPT0～LPT9

サイト／システム名は製品間の内部キーやデータの保存フォルダ名等に使用します。  
容易に変更できませんので、将来的に変更する可能性が発生する名前は避けてください。

サイト／システム名として、推奨できない例

- ・次期システム
- ・本番システム
- ・テスト期間中システム

サイト／システム名が反映される箇所

- ・CS シリーズの入力データファイルを格納するフォルダ名
- ・CS シリーズの出力結果ファイル名の一部
- ・CS シリーズの出力結果ファイルを格納するフォルダ名
- ・CS シリーズの出力結果を Web コンテンツ化して Web ブラウザで閲覧する際のパス名
- ・CS シリーズの出力結果を Web コンテンツ化して専用データベースに登録する際の識別名

## 4.2. 動作設定

動作設定を変更するには、「<CS シリーズインストールフォルダ>%x2f%ajsconv」ファイルを編集します。

```
type=ajs
intvl=15
target=C:%IIM_WORK%CS%ajsOUT
mapkeepday=1
code=utf_8
```

キー	説明
type	x2f で変換をするデータのタイプ。 「ajs」固定です。
intvl	インターバル間隔。単位は分。
target	変換元の CSV レポートファイルが格納されているフォルダを設定します。 サイト、システムのフォルダは含めません。
mapkeepday	ジョブ実行時間を算出するための、ジョブ開始時刻等を何日間マップファイルに取っておくかを設定します。 「1~10 日」の間で指定が可能でデフォルトは「1 日」です。
code	スケジューラログの文字コードを設定します。 文字コードが「UTF-8」の場合は「utf_8」、「MS932」の場合は「mbcs」を指定します。デフォルトは「utf_8」です。

## 4.3. x2f の実行

x2f を実行するには、  
<CS シリーズインストールフォルダ>%x2f%x2f.exe  
を実行します。

x2f の実行時には幾つかのオプションを指定可能です。

### ★オプション一覧

オプション	説明	参照先
-h --help	ヘルプメッセージを表示	4.3.1.
-V --version	バージョンを表示	4.3.2.
-i	設定情報を表示	4.3.3.
-oOUTDIR --outdir=OUTDIR	出力フォルダを指定	4.3.4.
-kKEEPDAY --keepday=KEEPDAY	変換元ファイルの削除期限を設定	4.3.5.
"設定ファイル名" -v "設定ファイル名" --verbose "設定ファイル名"	変換処理を実行	4.3.6.

---

#### 4.3.1. オプション -h

x2f.exe のヘルプメッセージを表示します。

```
x2f.exe -h  
x2f.exe --help
```

---

#### 4.3.2. オプション -V

x2f.exe のバージョンを表示します。

```
x2f.exe -V  
x2f.exe --version
```

---

#### 4.3.3. オプション -i

現在の設定情報（出力先ディレクトリ、変換元 CSV レポートファイルの削除設定）を表示します。

```
x2f.exe -i
```

---

#### 4.3.4. オプション -o

変換したフラットファイルを出力するフォルダを OUTDIR に設定します。

初期インストールの状態では ES/1 NEO CS シリーズのインポートフォルダが出力フォルダとなっています。

デフォルトのインポートフォルダは「C:¥IIM\_WORK¥CS¥PDBOUT」です。

```
x2f.exe -oOUTDIR  
x2f.exe --outdir=OUTDIR
```

---

#### 4.3.5. オプション -k

変換元の CSV レポートファイルを削除する期限を設定します。

初期インストールの状態では変換元ファイルの削除を行わない設定となっています。

(設定を行うだけであり、削除は設定に基づき変換処理の実行時に行われます。)

実行日を含めて KEEPDAY 日以上経過したファイルを削除します。

KEEPDAY には 0 以上 9999 以下の整数、あるいは-1 が指定可能です。

KEEPDAY に 0 を指定した場合、変換元ファイルすべてが削除されます。

KEEPDAY に 1 を指定した場合、更新日付が実行日以前の変換元ファイルすべてが削除されます。

また、KEEPDAY に-1 を指定した場合、変換元ファイルの削除を行いません。

```
x2f.exe -kKEEPDAY  
x2f.exe --keepday=KEEPDAY
```

#### 4.3.6. 実行オプション

変換処理を実行します。-vと--verboseは省略可能なオプションであり指定した場合はより多くの処理情報が標準出力に表示されます。

```
x2f.exe "設定ファイル名"  
x2f.exe -v "設定ファイル名"  
x2f.exe --verbose "設定ファイル名"
```

変換したログのファイル名は、プレフィックス「.fin.yyyymmddhhmmss\_」が追加されます。

変換したフラットファイルは出力フォルダ中に

XF0000\_yymmddHHMMSS.txt

という名前で作成されます("yyymmddHHMMSS"の部分は変換を実行した日時となります)。

また、変換元の CSV レポートファイルは変換が正常に終了した後にリネームされます。リネーム後のファイル名は

FIN. + < 元のファイル名>

となります。

次の【例】は「C:¥IIM¥CS」フォルダに ES/1 NEO CS をインストールし、「C:¥IIM¥CS¥x2f¥ajsconv」ファイルに設定を記述した場合の実行例です。

【例】

```
C:¥IIM¥CS¥x2f>x2f.exe ajsconv
```

#### 4.4. ログिंगの指定

x2fの実行ログはテキストファイル(x2fフォルダ内のx2f.log)やイベントログに記録することが可能です。

ログिंगの指定はx2fフォルダ内のx2f.iniファイルにて行います。

x2f.iniファイルの記述について、および情報の出力レベルについては、別紙マニュアル「Log Utility 使用者の手引き 8. ログ情報出力レベルの設定」を参照してください。

#### 4.5. 変換記録ファイル (lastfile.map/Jp1Ajs3.map)

JP1/AJSのログ変換には、以下の拡張子mapのファイルを作成し、更新いたします。

出力場所の例を記載します。

- ・変換対象ログをどこまで読み込んだかを記録

<IIM\_WORK>¥CS¥ajsOUT¥<site>¥<system>¥lastfile.map

- ・時間情報の算出にて更新

<IIM\_WORK>¥CS¥ajsOUT¥<site>¥<system>¥Jp1Ajs3.map

#### 注意！

通常の運用では考慮する必要はございませんが、一時的な変換・切り戻し作業などの処理を行われる際には、lastfile.map、Jp1Ajs3.mapのバックアップを取得してください。

## 第5章 フラットファイル項目一覧

### 5.1. JP1/AJS3 ジョブ情報

#### 5.1.1. JP1AJS3:ジョブ開始情報 (表名: JP1AJS3J001)

列名	型	説明
INTVL	I	Interval
LOGTYPE	S	ログ種別
LOGDATE	S	JP1AJS3 ログ上の日付
LOGTIME	S	JP1AJS3 ログ上の時刻
PID	S	プロセス ID
MESSAGEID	S	メッセージ ID
SERVICENAME	S	スケジューラーサービス名
JOBNAME	S	開始したジョブ名
EXECID	S	開始したジョブの実行 ID
HOSTNAME	S	開始したジョブの実行ホスト名
JOBNO	S	開始したジョブのジョブ番号
WAITTIME	F	ジョブ開始待ち時間(秒)
STARTDATE	S	サブミット日付
STARTTIME	S	サブミット時刻
JOBNETNAME	S	ジョブネット名
JOBSHORTNAME	S	ジョブ名(単体)

#### 5.1.2. JP1AJS3:ジョブ正常終了情報 (表名: JP1AJS3J002)

列名	型	説明
INTVL	I	Interval
LOGTYPE	S	ログ種別
LOGDATE	S	JP1AJS3 ログ上の日付
LOGTIME	S	JP1AJS3 ログ上の時刻
PID	S	プロセス ID
MESSAGEID	S	メッセージ ID
SERVICENAME	S	スケジューラーサービス名
JOBNAME	S	終了したジョブ名
EXECID	S	終了したジョブの実行 ID
HOSTNAME	S	終了したジョブの実行ホスト名
EXITCODE	S	終了したジョブの戻り値
JOBNO	S	終了したジョブのジョブ番号
EXCTIME	F	ジョブ実行時間(秒)
STARTDATE	S	ジョブ開始日付
STARTTIME	S	ジョブ開始時刻
JOBNETNAME	S	ジョブネット名
JOBSHORTNAME	S	ジョブ名(単体)
WAITTIME	F	ジョブ開始待ち時間(秒)
SUBMITDATE	S	サブミット日付
SUBMITTIME	S	サブミット時刻

### 5.1.3. JP1AJS3:ジョブ異常終了情報（表名: JP1AJS3J003）

列名	型	説明
INTVL	I	Interval
LOGTYPE	S	ログ種別
LOGDATE	S	JP1AJS3 ログ上の日付
LOGTIME	S	JP1AJS3 ログ上の時刻
PID	S	プロセス ID
MESSAGEID	S	メッセージ ID
SERVICENAME	S	スケジューラーサービス名
JOBNAME	S	異常終了したジョブ名
EXECID	S	異常終了したジョブの実行 ID
COUSE	S	異常終了の内容
EXITCODE	S	異常終了したジョブの戻り値
HOSTNAME	S	異常終了したジョブの実行ホスト名
JOBNO	S	異常終了したジョブのジョブ番号
EXCTIME	F	ジョブ実行時間(秒)
STARTDATE	S	ジョブ開始日付
STARTTIME	S	ジョブ開始時刻
JOBNETNAME	S	ジョブネット名
JOBSHORTNAME	S	ジョブ名(単体)
WAITTIME	F	ジョブ開始待ち時間(秒)
SUBMITDATE	S	サブミット日付
SUBMITTIME	S	サブミット時刻

### 5.1.4. JP1AJS3:ジョブ警告終了情報（表名: JP1AJS3J004）

列名	型	説明
INTVL	I	Interval
LOGTYPE	S	ログ種別
LOGDATE	S	JP1AJS3 ログ上の日付
LOGTIME	S	JP1AJS3 ログ上の時刻
PID	S	プロセス ID
MESSAGEID	S	メッセージ ID
SERVICENAME	S	スケジューラーサービス名
JOBNAME	S	警告終了したジョブ名
EXECID	S	警告終了したジョブの実行 ID
EXITCODE	S	警告終了したジョブの戻り値
HOSTNAME	S	警告終了したジョブの実行ホスト名
JOBNO	S	警告終了したジョブのジョブ番号
EXCTIME	F	ジョブ実行時間(秒)
STARTDATE	S	ジョブ開始日付
STARTTIME	S	ジョブ開始時刻
JOBNETNAME	S	ジョブネット名
JOBSHORTNAME	S	ジョブ名(単体)
WAITTIME	F	ジョブ開始待ち時間(秒)
SUBMITDATE	S	サブミット日付
SUBMITTIME	S	サブミット時刻



### 5.1.5. JP1AJS3:ジョブ保留情報 (表名: JP1AJS3J005)

列名	型	説明
INTVL	I	Interval
LOGTYPE	S	ログ種別
LOGDATE	S	JP1AJS3 ログ上の日付
LOGTIME	S	JP1AJS3 ログ上の時刻
PID	S	プロセス ID
MESSAGEID	S	メッセージ ID
SERVICENAME	S	スケジューラーサービス名
JOBNAME	S	保留したジョブ名
EXECID	S	保留したジョブの実行 ID
JOBNETNAME	S	ジョブネット名
JOBSHORTNAME	S	ジョブ名(単体)

### 5.1.6. JP1AJS3:ジョブサブミット開始情報 (表名: JP1AJS3J006)

列名	型	説明
INTVL	I	Interval
LOGTYPE	S	ログ種別
LOGDATE	S	JP1AJS3 ログ上の日付
LOGTIME	S	JP1AJS3 ログ上の時刻
PID	S	プロセス ID
MESSAGEID	S	メッセージ ID
SERVICENAME	S	スケジューラーサービス名
JOBNAME	S	サブミットしたジョブ名
EXECID	S	サブミットしたジョブの実行 ID
JOBNETNAME	S	ジョブネット名
JOBSHORTNAME	S	ジョブ名(単体)

### 5.1.7. JP1AJS3:イベントジョブ実行要求開始情報 (表名: JP1AJS3J007)

列名	型	説明
INTVL	I	Interval
LOGTYPE	S	ログ種別
LOGDATE	S	JP1AJS3 ログ上の日付
LOGTIME	S	JP1AJS3 ログ上の時刻
PID	S	プロセス ID
MESSAGEID	S	メッセージ ID
SERVICENAME	S	スケジューラーサービス名
JOBNAME	S	イベントジョブ名
EXECID	S	イベントジョブの実行 ID
JOBNETNAME	S	ジョブネット名
JOBSHORTNAME	S	ジョブ名(単体)

### 5.1.8. JP1AJS3:ジョブ終了遅延情報（表名: JP1AJS3J008）

列名	型	説明
INTVL	I	Interval
LOGTYPE	S	ログ種別
LOGDATE	S	JP1AJS3 ログ上の日付
LOGTIME	S	JP1AJS3 ログ上の時刻
PID	S	プロセス ID
MESSAGEID	S	メッセージ ID
SERVICENAME	S	スケジューラーサービス名
JOBNAME	S	終了が遅延したジョブ名
EXECID	S	終了が遅延したジョブの実行 ID
JOBNETNAME	S	ジョブネット名
JOBSHORTNAME	S	ジョブ名(単体)

### 5.1.9. JP1AJS3:ジョブのキューイング取り消し情報（表名: JP1AJS3J009）

列名	型	説明
INTVL	I	Interval
LOGTYPE	S	ログ種別
LOGDATE	S	JP1AJS3 ログ上の日付
LOGTIME	S	JP1AJS3 ログ上の時刻
PID	S	プロセス ID
MESSAGEID	S	メッセージ ID
SERVICENAME	S	スケジューラーサービス名
JOBNAME	S	終了したジョブ名
EXECID	S	終了したジョブの実行 ID
JOBNO	S	終了したジョブのジョブ番号
JOBNETNAME	S	ジョブネット名
JOBSHORTNAME	S	ジョブ名(単体)

### 5.1.10. JP1AJS3:ジョブ待ち合わせ開始情報（表名: JP1AJS3J010）

列名	型	説明
INTVL	I	Interval
LOGTYPE	S	ログ種別
LOGDATE	S	JP1AJS3 ログ上の日付
LOGTIME	S	JP1AJS3 ログ上の時刻
PID	S	プロセス ID
MESSAGEID	S	メッセージ ID
SERVICENAME	S	スケジューラーサービス名
JOBNAME	S	待ち合わせを開始したジョブ名
EXECID	S	待ち合わせを開始したジョブの実行 ID
JOBNETNAME	S	ジョブネット名
JOBSHORTNAME	S	ジョブ名(単体)

### 5.1.11. JP1AJS3:ジョブ待ち合わせ条件の成立情報（表名: JP1AJS3J011）

列名	型	説明
INTVL	I	Interval
LOGTYPE	S	ログ種別
LOGDATE	S	JP1AJS3 ログ上の日付
LOGTIME	S	JP1AJS3 ログ上の時刻
PID	S	プロセス ID
MESSAGEID	S	メッセージ ID
SERVICENAME	S	スケジューラーサービス名
JOBNAME	S	待ち合わせ条件が成立したジョブ名
EXECID	S	待ち合わせ条件が成立したジョブの実行 ID
COUSE	S	待ち合わせ条件の成立要因
JOBNETNAME	S	ジョブネット名
JOBSHORTNAME	S	ジョブ名(単体)

### 5.1.12. JP1AJS3:ジョブ待ち合わせの滞留情報（表名: JP1AJS3J012）

列名	型	説明
INTVL	I	Interval
LOGTYPE	S	ログ種別
LOGDATE	S	JP1AJS3 ログ上の日付
LOGTIME	S	JP1AJS3 ログ上の時刻
PID	S	プロセス ID
MESSAGEID	S	メッセージ ID
UNITNAME	S	待ち合わせ対象ユニット名
UNITID	S	待ち合わせ対象ユニットの実行 ID
SERVICENAME	S	スケジューラーサービス名
JOBNAME	S	待ち合わせ条件が成立したジョブ名
EXECID	S	待ち合わせ条件が成立したジョブの実行 ID
COUSE	S	待ち合わせ滞留要因
JOBNETNAME	S	ジョブネット名
JOBSHORTNAME	S	ジョブ名(単体)

## 5.2. JP1/AJS3 ジョブネット情報

### 5.2.1. JP1AJS3:ジョブネット開始情報（表名: JP1AJS3N001）

列名	型	説明
INTVL	I	Interval
LOGTYPE	S	ログ種別
LOGDATE	S	JP1AJS3 ログ上の日付
LOGTIME	S	JP1AJS3 ログ上の時刻
PID	S	プロセス ID
MESSAGEID	S	メッセージ ID
SERVICENAME	S	スケジューラーサービス名
JOBNETNAME	S	開始したジョブネット名
EXECID	S	開始したジョブネットの実行 ID
JOBNETPARENT	S	ジョブネット名(親)
JOBNETSHORT	S	ジョブネット名(単体)

### 5.2.2. JP1AJS3:ジョブネット正常終了情報（表名: JP1AJS3N002）

列名	型	説明
INTVL	I	Interval
LOGTYPE	S	ログ種別
LOGDATE	S	JP1AJS3 ログ上の日付
LOGTIME	S	JP1AJS3 ログ上の時刻
PID	S	プロセス ID
MESSAGEID	S	メッセージ ID
SERVICENAME	S	スケジューラーサービス名
JOBNETNAME	S	正常終了したジョブネット名
EXECID	S	正常終了したジョブネットの実行 ID
EXCTIME	F	ジョブネット実行時間(秒)
STARTDATE	S	ジョブネット開始日付
STARTTIME	S	ジョブネット開始時刻
JOBNETPARENT	S	ジョブネット名(親)
JOBNETSHORT	S	ジョブネット名(単体)

### 5.2.3. JP1AJS3:ジョブネット異常終了情報（表名: JP1AJS3N003）

列名	型	説明
INTVL	I	Interval
LOGTYPE	S	ログ種別
LOGDATE	S	JP1AJS3 ログ上の日付
LOGTIME	S	JP1AJS3 ログ上の時刻
PID	S	プロセス ID
MESSAGEID	S	メッセージ ID
SERVICENAME	S	スケジューラーサービス名
JOBNETNAME	S	異常終了したジョブネット名
EXECID	S	異常終了したジョブネットの実行 ID
EXCTIME	F	ジョブネット実行時間(秒)
STARTDATE	S	ジョブネット開始日付
STARTTIME	S	ジョブネット開始時刻
JOBNETPARENT	S	ジョブネット名(親)
JOBNETSHORT	S	ジョブネット名(単体)

### 5.2.4. JP1AJS3:ジョブネット警告終了情報（表名: JP1AJS3N004）

列名	型	説明
INTVL	I	Interval
LOGTYPE	S	ログ種別
LOGDATE	S	JP1AJS3 ログ上の日付
LOGTIME	S	JP1AJS3 ログ上の時刻
PID	S	プロセス ID
MESSAGEID	S	メッセージ ID
SERVICENAME	S	スケジューラーサービス名
JOBNETNAME	S	警告終了したジョブネット名
EXECID	S	警告終了したジョブネットの実行 ID
EXCTIME	F	ジョブネット実行時間(秒)
STARTDATE	S	ジョブネット開始日付
STARTTIME	S	ジョブネット開始時刻
JOBNETPARENT	S	ジョブネット名(親)
JOBNETSHORT	S	ジョブネット名(単体)

### 5.2.5. JP1AJS3:ジョブネット保留情報（表名: JP1AJS3N005）

列名	型	説明
INTVL	I	Interval
LOGTYPE	S	ログ種別
LOGDATE	S	JP1AJS3 ログ上の日付
LOGTIME	S	JP1AJS3 ログ上の時刻
PID	S	プロセス ID
MESSAGEID	S	メッセージ ID
SERVICENAME	S	スケジューラーサービス名
JOBNETNAME	S	保留したジョブネット名
EXECID	S	保留したジョブネットの実行 ID
JOBNETPARENT	S	ジョブネット名(親)
JOBNETSHORT	S	ジョブネット名(単体)

### 5.2.6. JP1AJS3:ジョブネット閉塞情報（表名: JP1AJS3N006）

列名	型	説明
INTVL	I	Interval
LOGTYPE	S	ログ種別
LOGDATE	S	JP1AJS3 ログ上の日付
LOGTIME	S	JP1AJS3 ログ上の時刻
PID	S	プロセス ID
MESSAGEID	S	メッセージ ID
SERVICENAME	S	スケジューラーサービス名
JOBNETNAME	S	閉塞したジョブネット名
EXECID	S	閉塞したジョブネットの実行 ID
MAINTENANCE	S	保守情報
JOBNETPARENT	S	ジョブネット名(親)
JOBNETSHORT	S	ジョブネット名(単体)

### 5.2.7. JP1AJS3:ジョブネット閉塞情報（表名: JP1AJS3N007）

列名	型	説明
INTVL	I	Interval
LOGTYPE	S	ログ種別
LOGDATE	S	JP1AJS3 ログ上の日付
LOGTIME	S	JP1AJS3 ログ上の時刻
PID	S	プロセス ID
MESSAGEID	S	メッセージ ID
SERVICENAME	S	スケジューラーサービス名
JOBNETNAME	S	閉塞したジョブネット名
EXECID	S	閉塞したジョブネットの実行 ID
MAINTENANCE	S	保守情報
JOBNETPARENT	S	ジョブネット名(親)
JOBNETSHORT	S	ジョブネット名(単体)

### 5.2.8. JP1AJS3:ジョブネット開始遅延情報（表名: JP1AJS3N008）

列名	型	説明
INTVL	I	Interval
LOGTYPE	S	ログ種別
LOGDATE	S	JP1AJS3 ログ上の日付
LOGTIME	S	JP1AJS3 ログ上の時刻
PID	S	プロセス ID
MESSAGEID	S	メッセージ ID
SERVICENAME	S	スケジューラーサービス名
JOBNETNAME	S	開始が遅延したジョブネット名
EXECID	S	開始が遅延したジョブネットの実行 ID
JOBNETPARENT	S	ジョブネット名(親)
JOBNETSHORT	S	ジョブネット名(単体)

### 5.2.9. JP1AJS3:ジョブネット終了遅延情報（表名: JP1AJS3N009）

列名	型	説明
INTVL	I	Interval
LOGTYPE	S	ログ種別
LOGDATE	S	JP1AJS3 ログ上の日付
LOGTIME	S	JP1AJS3 ログ上の時刻
PID	S	プロセス ID
MESSAGEID	S	メッセージ ID
SERVICENAME	S	スケジューラーサービス名
JOBNETNAME	S	終了が遅延したジョブネット名
EXECID	S	終了が遅延したジョブネットの実行 ID
JOBNETPARENT	S	ジョブネット名(親)
JOBNETSHORT	S	ジョブネット名(単体)

### 5.2.10. JP1AJS3:次回予定キューイング情報（表名: JP1AJS3N010）

列名	型	説明
INTVL	I	Interval
LOGTYPE	S	ログ種別
LOGDATE	S	JP1AJS3 ログ上の日付
LOGTIME	S	JP1AJS3 ログ上の時刻
PID	S	プロセス ID
MESSAGEID	S	メッセージ ID
SERVICENAME	S	スケジューラーサービス名
JOBNETNAME	S	ジョブネット名
EXECID	S	ジョブネットの実行 ID
JOBNETPARENT	S	ジョブネット名(親)
JOBNETSHORT	S	ジョブネット名(単体)

### 5.2.11. JP1AJS3:ジョブネット起動条件監視開始情報（表名: JP1AJS3N011）

列名	型	説明
INTVL	I	Interval
LOGTYPE	S	ログ種別
LOGDATE	S	JP1AJS3 ログ上の日付
LOGTIME	S	JP1AJS3 ログ上の時刻
PID	S	プロセス ID
MESSAGEID	S	メッセージ ID
SERVICENAME	S	スケジューラーサービス名
JOBNETNAME	S	起動条件の監視を開始したジョブネット名
EXECID	S	起動条件の監視を開始したジョブネットの実行 ID
JOBNETPARENT	S	ジョブネット名(親)
JOBNETSHORT	S	ジョブネット名(単体)

### 5.2.12. JP1AJS3:ジョブネット起動条件監視終了情報（表名: JP1AJS3N012）

列名	型	説明
INTVL	I	Interval
LOGTYPE	S	ログ種別
LOGDATE	S	JP1AJS3 ログ上の日付
LOGTIME	S	JP1AJS3 ログ上の時刻
PID	S	プロセス ID
MESSAGEID	S	メッセージ ID
SERVICENAME	S	スケジューラーサービス名
JOBNETNAME	S	起動条件の監視を開始したジョブネット名
EXECID	S	起動条件の監視を開始したジョブネットの実行 ID
STATUS	S	ジョブネットの終了状態
JOBNETPARENT	S	ジョブネット名(親)
JOBNETSHORT	S	ジョブネット名(単体)

### 5.2.13. JP1AJS3:ジョブネット繰り越し未実行情報（表名: JP1AJS3N013）

列名	型	説明
INTVL	I	Interval
LOGTYPE	S	ログ種別
LOGDATE	S	JP1AJS3 ログ上の日付
LOGTIME	S	JP1AJS3 ログ上の時刻
PID	S	プロセス ID
MESSAGEID	S	メッセージ ID
SERVICENAME	S	スケジューラーサービス名
JOBNETNAME	S	繰り越し未実行になったジョブネット名
EXECID	S	繰り越し未実行になったジョブネットの実行 ID
JOBNETPARENT	S	ジョブネット名(親)
JOBNETSHORT	S	ジョブネット名(単体)



#### 5.2.14. JP1AJS3:ジョブネット全登録解除情報（表名: JP1AJS3N014）

列名	型	説明
INTVL	I	Interval
LOGTYPE	S	ログ種別
LOGDATE	S	JP1AJS3 ログ上の日付
LOGTIME	S	JP1AJS3 ログ上の時刻
PID	S	プロセス ID
MESSAGEID	S	メッセージ ID
SERVICENAME	S	スケジューラーサービス名

#### 5.2.15. JP1AJS3:起動条件監視終了待ち情報（表名: JP1AJS3N015）

列名	型	説明
INTVL	I	Interval
LOGTYPE	S	ログ種別
LOGDATE	S	JP1AJS3 ログ上の日付
LOGTIME	S	JP1AJS3 ログ上の時刻
PID	S	プロセス ID
MESSAGEID	S	メッセージ ID
SERVICENAME	S	スケジューラーサービス名
JOBNETNAME	S	ジョブネット名
EXECID	S	新規世代のジョブネットの実行 ID
OLDEXECID	S	前回世代のジョブネットの実行 ID
JOBNETPARENT	S	ジョブネット名(親)
JOBNETSHORT	S	ジョブネット名(単体)

#### 5.2.16. JP1AJS3:ジョブネット待ち合わせ開始情報（表名: JP1AJS3N016）

列名	型	説明
INTVL	I	Interval
LOGTYPE	S	ログ種別
LOGDATE	S	JP1AJS3 ログ上の日付
LOGTIME	S	JP1AJS3 ログ上の時刻
PID	S	プロセス ID
MESSAGEID	S	メッセージ ID
SERVICENAME	S	スケジューラーサービス名
JOBNETNAME	S	待ち合わせを開始したジョブネット名
EXECID	S	待ち合わせを開始したジョブネットの実行 ID
JOBNETPARENT	S	ジョブネット名(親)
JOBNETSHORT	S	ジョブネット名(単体)

### 5.2.17. JP1AJS3:ジョブネット待ち合わせ条件の成立情報（表名: JP1AJS3N017）

列名	型	説明
INTVL	I	Interval
LOGTYPE	S	ログ種別
LOGDATE	S	JP1AJS3 ログ上の日付
LOGTIME	S	JP1AJS3 ログ上の時刻
PID	S	プロセス ID
MESSAGEID	S	メッセージ ID
SERVICENAME	S	スケジューラーサービス名
JOBNETNAME	S	待ち合わせ条件が成立したジョブネット名
EXECID	S	待ち合わせ条件が成立したジョブネットの実行 ID
COUSE	S	待ち合わせ条件の成立要因
JOBNETPARENT	S	ジョブネット名(親)
JOBNETSHORT	S	ジョブネット名(単体)

### 5.2.18. JP1AJS3:ジョブネット待ち合わせの滞留情報（表名: JP1AJS3N018）

列名	型	説明
INTVL	I	Interval
LOGTYPE	S	ログ種別
LOGDATE	S	JP1AJS3 ログ上の日付
LOGTIME	S	JP1AJS3 ログ上の時刻
PID	S	プロセス ID
MESSAGEID	S	メッセージ ID
UNITNAME	S	待ち合わせ対象ユニット名
UNITID	S	待ち合わせ対象ユニットの実行 ID
SERVICENAME	S	スケジューラーサービス名
JOBNETNAME	S	待ち合わせ条件が成立したジョブネット名
EXECID	S	待ち合わせ条件が成立したジョブネットの実行 ID
COUSE	S	待ち合わせ滞留要因
JOBNETPARENT	S	ジョブネット名(親)
JOBNETSHORT	S	ジョブネット名(単体)